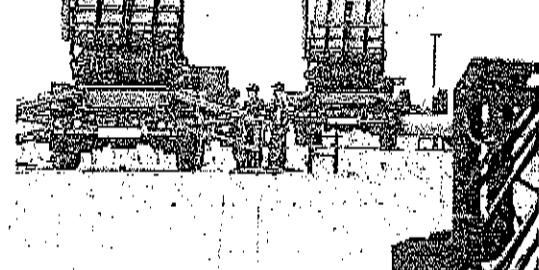


配備1ヶ月超 沖縄の疑念

PAC3部隊 民間の港にも展開



石垣島の新港地区に設置されたPAC3。発射機は西の方角に向けられていた=2日

台風の通過後、PAC3はそれぞれ計画通りに設置された。唯一、自衛隊施設外に設置された石油貯蔵施設がある。全日本港湾労働組合沖縄地方本部は、PAC3

朝鮮は「早い期間内に2回目の打ち上げを行うと表明した。防衛省関係者によると、北朝鮮が期限とする11日前0時までに打ち上げなかつた場合、破壊措置命令を12日以降も延長」、宮古島、石垣島、与那国島などでの「展開田舎が目的では」との指摘も出している。

1回目の失敗の後、北朝鮮は「早い期間内に2回目の打ち上げを行うと表明した。防衛省関係者によると、北朝鮮が期限とする11日前0時までに打ち上げなかつた場合、破壊措置命令を12日以降も延長」、宮古島、石垣島、与那国島などでの「展開田舎が目的では」との指摘も出している。

迎撃態勢を継続する」とも視野に検討している。北朝鮮は今後、事前通告せずに打ち上げる可能性も示唆している。「方が一、撤収後に打ち上げられる」とも当たるねない」（防衛省関係者）。破壊措置の準備命令が出たのは4月22日。部隊

が発射されれば安全を確保できなくなる」と、新港地区で働く港湾業者3社の組合員、計約50人の住宅待機を検討している。諸見力書記長は「労働者の安全を脅かさない」らしい」と話す。

石垣島には今年3月、陸軍の駐屯地が開設された。2016年には与那国島、19年には宮古島とも開設されており、中国人を急頭に急速に進む自衛隊の機能強化に、戸惑う人も少なくない。

PAC3配備の際、防衛省は車両などを輸送するため、海上自衛隊の輸送艦を那覇港（那覇市）や中城湾港（沖縄市）に接岸させようとしたが、

「安全脅かさないで」「有事の訓練では」

予約で埋まっていたため一部を空輸に切り替えた。与那国島の祖納港で古事の例を問われ、「直衛隊大丈夫か」とどうり指摘を受けてしまったが、台風2号の接近で断念した。さらに複数の関係者によると、宮古島には常時迎撃態勢を維持している」というが、省内には「消耗戦」との見方もある。隊員の交代態勢を敷いているのはいえ、ある幹部は「隊員は長期間、現場を離れられない状態。隊員を送り出した本土の部隊も含め、緊張が続いている」と話す。

だが、北朝鮮が実際に打ち上げを試みた5月31日、PAC3は迎撃態勢になかった。石垣島では視界が開けた駐屯地外の新港地区に設置する予定だったが、台風2号の接近で断念した。さらに複数の関係者によると、宮古島は常に迎撃態勢を維持している」というが、省内には「消耗戦」との見方もある。隊員の交代態勢を敷いているのはいえ、ある幹部は「隊員は長期間、現場を離れられない状態。隊員を送り出した本土の部隊も含め、緊張が続いている」と話す。

と苦言を呈した。浜田防衛相は1日の参院外交防衛委員会で、宮古島の例を問われ、「直衛隊大丈夫か」とどうり指摘を受けてしまったが、ありますか、説明をするのが大変難しい」と述べたこととめた。

環であることは明らかだ」と指摘した。
(小野太郎、伊藤和行、棚橋暁月、成沢解説)

ある県幹部は万一の事態に備える必要性は認めつつ、「有事を想定して部隊を移動展開させる訓練の意味合いもあるのかかもしれない」とみる。

沖縄国際大の前泊博盛教授（安全保障論）は、「まさに有事の際の対応」と語る。「既成事実化して住民の意識を変えようと、軍事的な動きの一

古島、与那国島の分屯基地・駐屯地内のPAC3も台風への警戒から発射機を下げていたという。

与那国町によると、糸数健一・与那国町長は、陸上自衛隊与那国駐屯地の司令らとの会議で「基地だ遺憾だ。もし着弾していたらどうなつたのか」と苦言を呈した。

浜田防衛相は1日の参院外交防衛委員会で、宮古島の例を問われ、「直衛隊大丈夫か」とどうり指摘を受けてしまったが、ありますか、説明をするのが大変難しい」と述べたこととめた。